

kishibe route

【きしべの路】



国分寺崖線に沿って残る豊かなみどりや水辺の風景をたどりながら、かつての暮らしと文化を訪ね歩く路です。

マップの使い方
この面を地図側に折り返すと、地図とあわせてルートのご紹介がご覧になれます。



成城五丁目猪股庭園

(財)労務行政研究所理事長を務めた故猪股猛氏が昭和42年に建てた武家屋敷風の邸宅です。近代数奇屋造りの第一人者で、文化勲章受賞者の故吉田五十八氏が設計しました。



喜多見不動堂

明治10年に多摩川に流れついたお不動様を祭っています。冬至の日には、星を供養して福を招き災いを防ぐ星祭りが行われます。不動の滝、湧水があります。

神明の森 みつ池



23区では珍しい自生のゲンジボタルをはじめ、クワガタ、カナブン、コゲラなどたくさんの動物やハンノキやセキショウなどの植物が見られます。自然保護のため開放は年数回の観察会の時に限られていますが、周囲で鳥の声を聞くだけでも、豊かな森の自然が感じられます。

きたみふれあい広場

小田急線の電車車庫の上にある人工地盤の公園です。地上10mの高さにあるため見晴らしが良く、国分寺崖線の緑の帯が一望できます。



次大夫堀公園民家園



かつて喜多見から岡本界隈の農地を潤した六郷用水の大事業を成し遂げた、旧今川家の家臣の小泉次大夫からその名が付けられたこの公園は、昔ながらの小川や自然を復元した公園です。用水や田圃も再現され、地元の小学生により、田植えや稲刈りの体験学習が行われています。

永安寺

山門を入ると境内には樹齢数100年といわれる大イチョウがあります。世田谷で最初の図書館を創設し、数々の著書を残した石井至毅のお墓もここに 있습니다。



岡本公園民家園



復元されたかやぶきの民家は、18世紀末に建てられた田長崎家の母屋を、6代目孫兵衛が増改築したものといわれています。年代物ながら手が行き届いている民家園は、国分寺崖線の雑木林に溶け込み、心安らぐ雰囲気のある場所です。民家園では四季折々の年中行事が再現され、お茶会や句会など、広く区民に開放されています。

岡本八幡神社

江戸時代初期に建てられたのではといわれていますが、その起源は定かではありません。本堂に向かってまっすぐのびる勾配がきつい48段の石段があり、脇に迂回するように作られた、ゆるやかな坂は特に”おんな坂”と呼ばれています。

静嘉堂文庫美術館

旧三菱財閥の故岩崎弥之助・小弥太氏によって収集された膨大な文化財の収集館です。和漢20万冊の古典籍や「曜変天目茶碗」などの国宝、重要文化財を含む5000点の古美術品が収蔵されています。また、緑したたる美しい庭は、自由に散策できます。



静嘉堂文庫美術館

多摩川テラスの武家屋敷門

多摩川テラスの一角に移築された武家屋敷門。旧岡山藩・池田家の筆頭家老の家のものとされます。間口22m、奥行き6.8m。切妻造りで瓦ぶきの立派な門です。



瀬田四丁目旧小坂緑地(旧小坂家住宅)

信濃銀行取締役に後に貴族院議員を務めた故小坂順造氏の別邸として、昭和12年に上棟。区が用地を取得し、庭園は、国分寺崖線の斜面と湧水の流れを活かした散歩道が設けられています。平成11年に建物や門などが区の有形文化財に指定されました。

砧線の跡地遊歩道

旧東急砧線の跡地を利用した歩道は、玉電が描かれたタイルや夜になると光る星座などがデザインされ夕暮れ時にはとてもロマンチックな雰囲気になります。



成城三丁目緑地



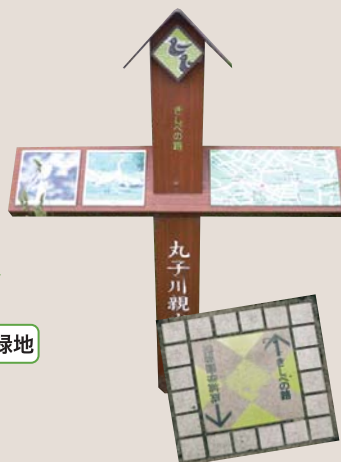
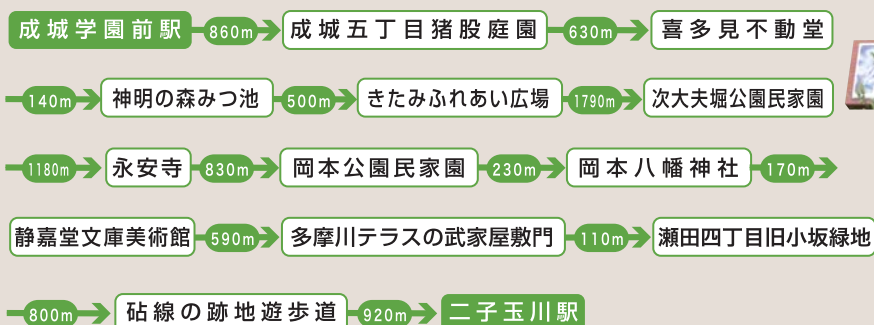
ここにはこんこんと湧き出る湧水があります。また崖線の地層も一部で見ることができ、かつての国分寺崖線の自然景観がそのままに残されています。この緑地では、近隣住民やボランティア、隣接する小学校の児童、世田谷トラストまちづくり、世田谷区など、多くの人たちか関わりあって、「都市の里山」をテーマに、みどりの保全活動が進められています。

富士見橋(成城)

切り通しにあるため、晴れた日にはその名のおり富士山を真正面に見ることが出来ます。平成17年に不動橋とともに新しい橋になり、また、国土交通省の「関東の富士見百景」に選定されました。



きしべの路おすすめルート 8.7km



成城学園前駅から二子玉川駅までの健脚コースです。左の写真のような道標や路面のサインがあります。地図の◆マークを参考に歩いてくださいね。